環境レビュー結果

- (1) 照会番号
11-033
- (2) プロジェクト名
火力発電所
- (3) 実施場所
インドネシア 西ジャワ州
- (4) プロジェクト概要
火力発電所の建設
- (5) カテゴリ分類
カテゴリ A
- (6) カテゴリ分類の根拠
本プロジェクトは、環境ガイドラインに示される大規模な火力発電に該当し、影響を受けやすい地域を伴うため。
- (7) 環境許認可
現地国法に基づいて環境影響評価書が作成されており、インドネシア西ジャワ州政府より環境許認可を取得している。
- (8) 汚染対策
大気質、水質、騒音について、現地国基準を満たすよう適切な対策が講じられる。その他の汚染対策についても、適切な措置が講じられる。
- (9) 自然環境面
自然環境面への影響に対して、適切な措置が講じられる。なお、本プロジェクトサイト周辺のマングローブの伐採を最小限に止めるとともに、マングローブ復元計画を実施している。

(10) 社会配慮面

社会面への影響に対して、適切な措置が講じられる。なお、本プロジェクトの実施による非自発的住民移転は発生しない。

(11) 適用国際基準

IFC パフォーマンススタンダード

(12) その他（モニタリング等）

プロジェクト実施者による、大気質、水質、騒音等のモニタリングが計画されており、モニタリング結果は定期的に環境当局等へ報告される予定である。

以上

質問7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件（例：特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等）ですか？

(Yes/No)

Yesの場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
Noの場合、質問8以下にお答え下さい。

質問8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes/No)

Yesの場合、該当するものをマークして下さい。質問9以下にお答え下さい。
Noの場合、質問9以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 原生林、熱帯の自然林
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟等）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(Yes/No)

Yesの場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問10以下にお答え下さい。
Noの場合、質問11以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転（規模： 人）
- (2) 地下水揚水（規模： m³/年）
- (3) 埋立、土地造成 開墾（規模： 40 ha）
- (4) 森林伐採（規模： ha）

質問10. プロジェクトを実施する国の環境影響評価制度において、上記(1)～(4)に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他 ()

質問11. 貿易保険の対象となる輸出、貸付又は投資等の金額（保険価額）が、総プロジェクトコストの5%以下または10百万SDR相当円以下ですか？（既往の同一プロジェクトへの追加的な輸出、

貸付又は投資等の場合は累積額とします。)

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

質問 1 2. 環境影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト (例: 既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得) に該当しますか?

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか?

(Yes / No)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業 (大型炉を含むもの)
- (5) 非鉄金属 製錬
- (6) 石油化学 (原料製造。コンビナートを含む)
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) 有害・有毒物質製造・輸送 (国際条約等に規定されているもの)
- (11) 火力発電
- (12) 原子力発電
- (13) 水力発電、ダム、貯水池
- (14) 送変電・配電 (大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの)
- (15) 道路、鉄道、橋梁
- (16) 空港
- (17) 港湾
- (18) 下水・廃水処理 (影響を及ぼしやすい 特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの)
- (19) 廃棄物処理・処分
- (20) 農業 (大規模な開墾、灌漑を伴うもの)
- (21) 林業、植林
- (22) 観光 (ホテル建設等)

質問 1 4. プロジェクトの規模 (概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等) について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

[火力発電所]

発電所敷地面積：約 90ha

発電容量：660MW

総事業費：US850 百万^{ドル}

発電所建設着工に際して環境影響評価が実施されたが、プロジェクトの規模の大きさを理由として、別途追加の環境評価を行う必要性はない。